

FAX 03-3340-5448 厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 へ送付してください。

(1) 患者登録確認書・治療薬供給申請書 (継続)

ドキシル臨床研究 専用

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

下記の患者の治療において、厚生労働省エイズ治療薬研究班の保有する下記の薬剤による治療研究に参加することが医学的に必要であると判断し、薬剤の供給を申請します。

なお、私は当該薬剤の適切な使用法や副作用などについて熟知しており、供給された薬剤は研究班の治療研究の目的に沿って、当該患者に対して十分な説明を行い、文書による同意を得た上で、私の責任において使用し、後日、使用成績を報告します。また、研究班の薬剤は患者に無償で提供することを承知しております。

フリガナ 申請者(担当医)氏名		病院名
診療科名		
電話 ()		

患者氏名(イニシャル) 姓 []. 名 [].	男 ・ 女		
カルテ番号下3桁 [. .]	生年月	年 月	
身長	cm	体 重	kg
最近のCD4数 年 月 日	[] / μ l	最近のHIV-RNA量 年 月 日	[] [] $\times 10$ copies/ml

希望薬剤 [] 不同意申請

薬剤名1	ドキシル注 20mg/v	1コース投与量	[mg]
------	--------------	---------	--------

今回申請の治療

研究班薬剤投与	コース目	通算投与数	コース目
---------	------	-------	------

投与予定

年月日	年 月 日
-----	-------

前回までの治療効果の評価(担当医師の評価)

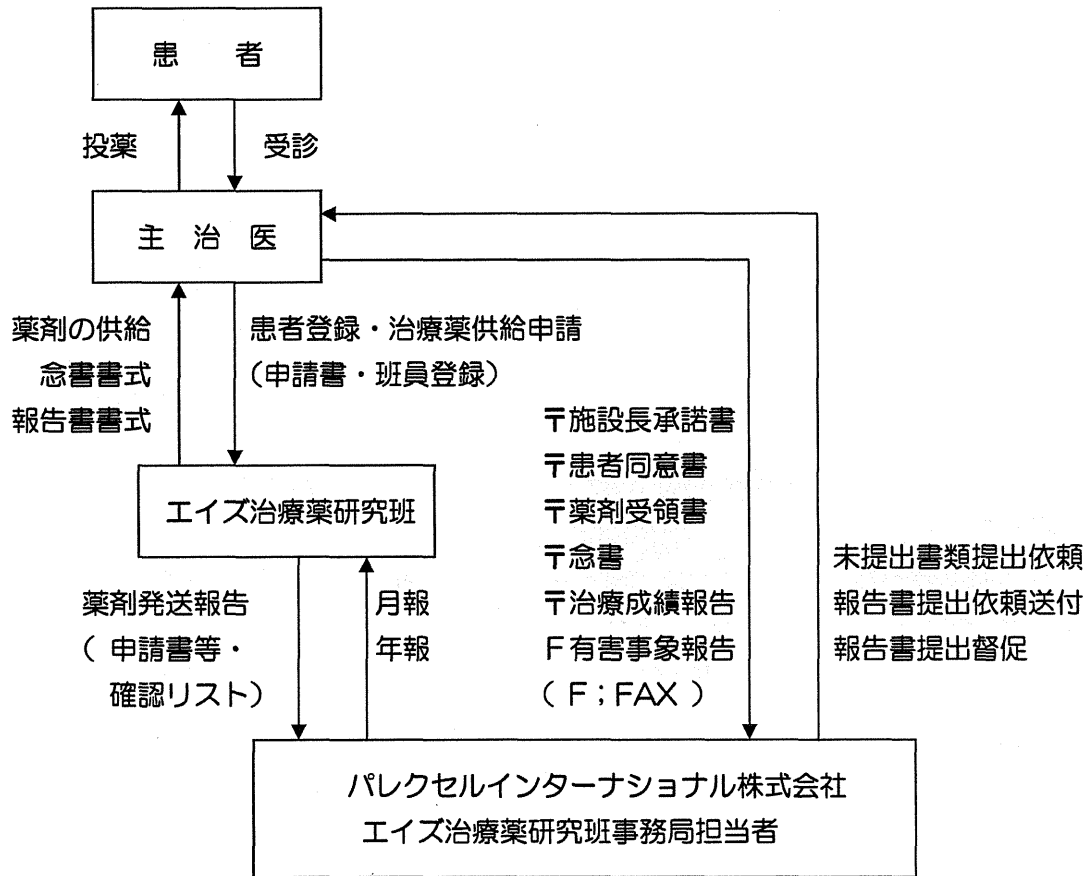
効果 有・無	具体的効果の内容
担当医師の意見	

過去の本治療における有害事象・副作用

有・無	具体的内容
-----	-------

班長連絡先; TEL 03-3342-6111 FAX 03-3340-5448

臨床研究（薬剤供給）フローチャート



治療成績報告書の整理保存（薬剤別；複数薬剤のときはコピー作成）
月報作成、年報作成

注意点

事務局機能の充実のために文書の回収、整理、保管をパレクセルインターナショナル株式会社へ委託する。これに伴い、患者登録・治療薬供給申請・班員登録以外の文書の提出先、ならびに文書提出に関する事務連絡先はパレクセル・インターナショナル株式会社のエイズ治療薬研究班事務局担当者となります。

班長連絡先 東京医科大学病院 臨床検査医学科 主任教授 福武 勝幸
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL03-3342-6111 EXT5086 FAX 03-3340-5448

事務局連絡先 パレクセル・インターナショナル株式会社
エイズ治療薬研究班事務局担当者
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21 茅場町ファーストビル 6F
TEL : 03-3537-5902 FAX : 03-3552-0452

研究班薬剤の入手方法と治療成績の報告について

1. この研究班が取り扱う薬剤の供給を受けることを希望する医師は、必ずFAX サービスまたはインターネットを通じて治療薬ごとに資料と文書の書式を取得し、当該患者がこの研究班からの薬剤供給の対象となることを確認して下さい。
2. 当該患者が研究班供給薬剤の適応疾患に罹患していて、他の薬剤による治療が困難であるか、他に有効な治療薬がないことを確認した上で、必要事項を(1)患者登録確認書、治療薬供給申請書に記載して班長へFAXにて送付してください。初めて患者登録を行う場合は同時に(2)研究班班員登録書を班長へFAXし、(2)研究班班員登録書と(3)施設長承諾書の原本を事務局へ郵送してください。
3. 班長は送付された書類の内容を確認の上、薬剤を担当医師へ宛てて発送します。
4. 薬剤を受領後、直ちに(4)患者同意書と(5)薬剤受領書および「厚生労働省大臣宛ての念書」を書留郵便(プライバシー保護のため)にて事務局へ返送してください。
5. 治療を開始したら(6)臨床研究使用成績調査票(1)と(7)臨床研究使用成績調査票(2)「臨床経過と臨床検査値の推移」について、開始時に記入できる範囲で記入しコピーを事務局へお送りください。
6. 治療が継続される場合は、治療開始から少なくとも約1ヶ月毎に臨床検査などを行い、経過を観察し(7)臨床研究使用成績調査票(2)「臨床経過と臨床検査値の推移」の表に記載し、記載ごとにコピーを事務局までお送りください。治療が終了したら、全ての臨床研究使用成績調査票の記載可能に記載の上事務局へ郵送してください。なお、事務局は定期的集計のために臨床研究使用成績調査票の送付をお願いすることがあります。ご協力をお願いいたします。
7. その他の臨床検査を行った際は(7)臨床研究使用成績調査票(3)「その他の重要な臨床検査成績」に記載し、事務局へ郵送にてご報告下さい。
8. 治療経過中に有害事象が発生した場合には、薬剤に起因する副作用を疑わない事象であっても、直ちに(9)有害事象発生報告書を作成し、FAXにて事務局へ送付してください。

担当医師へのお願い

この研究班は、日本で未承認もしくは該当する適応症が未承認であるが、海外では目的とする疾患の治療のために既に承認されている薬剤を、主任研究者(班長)が医師個人輸入として輸入し、当該薬剤を必要とする患者の担当医師の要請に応じて治療研究のために無償で交付し、治療効果、安全性、副作用などを明確にするとともに、将来、国内での薬剤の入手難を緩和することを目的としています。

従って、研究班の円滑な運営と存続のために各種報告書の返送をお願いいたします。また、当該薬剤はわが国の薬事法上の承認を有しておらず、担当医師による患者への十分な説明による同意を得た上で、担当医師の責任のもとに用いるものであることを承知してください。研究班では、研究班の薬剤を用いて賠償責任が生じた場合を想定して、担当医師が研究班薬剤の使用した際に生じた事故をカバーする班員に対する条項を加えた医師賠償責任保険に加入することをお勧めしています。

FAX 03-3340-5448 厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 へ送付してください。

(1) 患者登録確認書・治療薬供給申請書 (新規・継続)

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

下記の患者の治療において、日本での既承認薬による治療は困難であり、厚生労働省エイズ治療薬研究班の保有する下記の薬剤による治療研究に参加することが医学的に必要であると判断し、ここに当該患者を登録して薬剤の供給を申請します。

なお、私は当該薬剤の適切な使用法や副作用などについて熟知しており、供給された薬剤は研究班の治療研究の目的に沿って、当該患者に対して十分な説明を行い、文書による同意を得た上で、私の責任において使用し、後日、使用成績を報告します。また、研究班の薬剤は医師個人輸入として輸入するもので患者に無償で提供することを承知しており、別紙にて念書を差し入れます。

フリガナ 申請者(主治医)氏名		病院名・〒住所	
診療科名			
職 責			
電話番号	()	FAX番号	()
E-Mail			

患者氏名(イニシャル) 姓 []、名 []、	男 ・ 女
カルテ番号 []	生年月日 年 月 日
最近のCD4数 年 月 日 [] / μ	最近のHIV-RNA量 年 月 日 [] $\times 10$ copies/ml

研究班の薬剤を必要とする疾患

診断名1		診断日	年 月 日
診断名2		診断日	年 月 日
診断名3		診断日	年 月 日

希望薬剤

薬剤名1		1日投与量	[] / 日
薬剤名2		1日投与量	[] / 日
薬剤名3		1日投与量	[] / 日

希望理由(該当項目に○)

	既承認薬に必要な剤形がない。
	既承認薬による治療に障害が発生し継続出来ない。
	既承認薬による治療の効果が不十分である。
	目的とする適応症をもつ既承認薬がない。
	そのほか(具体的に記載してください。)

班長連絡先; TEL 03-3342-6111 FAX 03-3340-5448

FAX 03-3340-5448 厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 へFAXでお送り下さい。
原本は施設長承諾書とともに事務局へ郵送してください。

(2) 班員登録書

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

私は厚生労働省エイズ治療薬研究班に研究協力者（班員）として参加することを承諾します。

フリガナ 氏 名	印
所属病院名 住 所	
診療科名	
職 責	
緊急連絡先 自宅住所 電話 FAX E-mail 等	

厚生労働省エイズ治療薬研究班の薬剤による治療研究を実施する医師は、当研究班の規定により研究協力者（班員）となっていたかなければなりません。厚生労働省エイズ治療薬研究班はヒューマンサイエンス振興財団のエイズ医薬品等開発推進事業からの研究費により運営されています。

班長連絡先 東京医科大学病院 臨床検査医学科 主任教授 福武 勝幸
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL 03-3342-6111 EXT5086 FAX 03-3340-5448

事務局連絡先 パレクセル・インターナショナル株式会社
エイズ治療薬研究班事務局担当者
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21 茅場町ファーストビル 6F
TEL : 03-3537-5902 FAX : 03-3552-0452

厚生労働省エイズ治療薬研究班

(3) 施設長承諾書の原本は(2) 班員登録書とともに、厚生労働省エイズ治療薬研究班事務局へ郵便にて提出してください。

(3) 施設長承諾書

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

フリガナ 氏 名	
診療科名	
職 責	

上記の者が厚生労働省エイズ治療薬研究班に研究協力者(班員)として参加することを承諾します。

施 設 長 氏 名	印
職 責	
施 設 名 住 所	

厚生労働省エイズ治療薬研究班の薬剤による治療研究を実施する医師は、当研究班の規定により研究協力者(班員)となっていたいただかなければなりません。厚生労働省エイズ治療薬研究班はヒューマンサイエンス振興財団のエイズ医薬品等開発推進事業からの研究費により運営されています。

班長連絡先 東京医科大学病院 臨床検査医学科 主任教授 福武 勝幸
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL03-3342-6111 EXT5086 FAX 03-3340-5448

事務局連絡先 パレクセル・インターナショナル株式会社
エイズ治療薬研究班事務局担当者
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21 茅場町ファーストビル 6F
TEL : 03-3537-5902 FAX : 03-3552-0452

本文書は3通作成し、1通は厚生労働省エイズ治療薬研究班事務局へ書留郵便で提出し、他は患者、主治医がそれぞれ保管してください。（同一薬剤の継続時は初回のみ必要です。）

(4) 患者同意書

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

フリガナ 申請者（主治医）氏名		病院名・〒住所	
診療科名			
職 責			
患者氏名（イニシャル）	姓 [] . 名 [] .	男	女
カルテ番号 []	生年月日	年	月 日

上記の患者さんに対して、以下の内容について十分に説明したうえ同意を得ました。

同意書

私は私の病気（ ）の治療のために、厚生労働省エイズ治療薬研究班から治療薬（ ）の提供を受けることに関して、上記の担当医師から下記の内容について説明を受け、また質問する機会も得て理解いたしましたので、この治療を受けることに同意いたします。

説明内容

1. この治療の目的と意義
2. 予期される効果と副作用
3. 他の治療法の有無とその内容
4. 同意しない場合でも今後の治療に不利益を受けないこと。
5. 同意した場合でも随時これを撤回でき今後の治療に不利益を受けないこと。
6. わからない点は、いつでも質問し説明を受けられること。
7. プライバシーは厳重に守られること。

同意取得日	年 月 日		
フリガナ 患者氏名 (自署)	印	フリガナ 代諾者氏名 (自署)	印
生年月日	年 月 日		
住所		代諾者住所	

厚生労働省エイズ治療薬研究班

本文書は薬剤を受け取り次第、念書とともに厚生労働省エイズ治療薬研究班事務局へ郵便で提出してください。

(5) 薬剤受領書

年 月 日

厚生労働省エイズ治療薬研究班 班長 福武 勝幸 殿

薬 剤 名	数 量

上記の薬剤を確かに受領いたしました。

フリガナ 受領者（主治医） 氏名	印
診療科名	
職 責	
病院名・〒住所	

班長連絡先 東京医科大学病院 臨床検査医学科 主任教授 福武 勝幸
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL03-3342-6111 EXT5086 FAX 03-3340-5448

事務局連絡先 パレクセル・インターナショナル株式会社
エイズ治療薬研究班事務局担当者
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21 茅場町ファーストビル 6F
TEL : 03-3537-5902 FAX : 03-3552-0452

(6) 臨床研究使用成績調査票 (1)

臨床経過と検査値の推移を各ポイント記載する毎に本表のコピーも事務局へお送り下さい

主治医氏名	印	病院名・〒住所	
診療科名			
職 責			
電話番号	()	FAX番号	()
E-Mail			

患者氏名 (イニシャル)	姓 [], 名 []	男・女	身長	cm
カルテ番号 []	生年月日	年	月	日
合併症 1. 無し 2. 慢性肝炎 3. 肝硬変 4. 腎障害 5. 糖尿病 6. 高脂血症 7. 血友病 8. その他 ()				

今回使用した研究班の薬 (研究班の薬剤を全てを記載して下さい。)

薬剤名	含有量・剤形	1日量と投与回数		投与期間 (年/月/日)			
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /

研究班の薬剤を投与中に使用した併用薬を全て記載してください。

薬剤名	剤形	1日量と投与回数		投与期間 (年/月/日)			
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /
		/日	回/日	/	/	-	/ /

(7) 臨床研究使用成績調査票 (2)

臨床経過と臨床検査値の推移

ポイント毎に記入し、記入毎に事務局へお送り下さい。

主治医氏名	印	病院名・〒住所	
診療科名			
職 責			
患者氏名 (イニシャル) 姓 [] . 名 [] .		男 ・ 女	
カルテ番号 []	生年月日	年 月 日	

検査ポイント	投与前	開始後 ヶ月	開始後 ヶ月	開始後 ヶ月
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
外来・入院	外来・入院	外来・入院	外来・入院	外来・入院
体重	Kg	Kg	Kg	Kg
体温	℃	℃	℃	℃
血圧	/ mmHg	/ mmHg	/ mmHg	/ mmHg
症状の程度	3+・2+・1+・-	3+・2+・1+・-	3+・2+・1+・-	3+・2+・1+・-
CD4細胞数	/μl	/μl	/μl	/μl
HIV-RNA 量	×10 /ml	×10 /ml	×10 /ml	×10 /ml
白血球数 WBC	/μl	/μl	/μl	/μl
赤血球数 RBC	/μl	/μl	/μl	/μl
Hb	g/dl	g/dl	g/dl	g/dl
Htc	%	%	%	%
血小板数	/μl	/μl	/μl	/μl
好中球%	%	%	%	%
好酸球%	%	%	%	%
好塩基球%	%	%	%	%
リンパ球%	%	%	%	%
単球%	%	%	%	%
TP	g/dl	g/dl	g/dl	g/dl
T-Bil	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
GOT	IU/L	IU/L	IU/L	IU/L
GPT	IU/L	IU/L	IU/L	IU/L
γGTP	IU/L	IU/L	IU/L	IU/L
BUN	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
クレアチニン	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
尿酸	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
総コレステロール	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
中性脂肪	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
グルコース	mg/dl	mg/dl	mg/dl	mg/dl
尿蛋白	-・+・+	-・+・+	-・+・+	-・+・+
尿糖	-・+・+	-・+・+	-・+・+	-・+・+
尿潜血反応	-・+・+	-・+・+	-・+・+	-・+・+
尿沈さ異常と内容	無・()	無・()	無・()	無・()

(8) 臨床研究使用成績調査票 (3)

その他の重要な臨床検査成績

XP, CT, MRI, シンチグラム等

検査毎に記入し、記入毎に事務局へお送り下さい。

主治医氏名	印	病院名・〒住所		
診療科名				
職 責				
患者氏名 (イニシャル) 姓 [] . 名 [] .		男・女		
カルテ番号 []	生年月日	年	月	日

(9) 有害事象発生報告書

年 月 日

有害事象が発生したら直ちに記入して、FAXで事務局03-3518-6014へお送り下さい。

主治医氏名	印	病院名・〒住所	
診療科名			
職 責			
患者氏名（イニシャル） 姓 [], 名 [],		男・女	
カルテ番号 []		生年月日	年 月 日
有害事象の内容			
発生日時	年 月 日 午前・午後 時		
経過と処置			
程度（主治医判断）	軽症 ・ 中等度 ・ 重篤		
薬剤との因果関係	1. 関連有り 2. 関連が否定出来ない 3. 関連無し 4. 不明		
関連有ると 思われる薬剤	薬剤名	理由	

転帰報告書

転帰を判定したら直ちに記入し事務局へお送り下さい。

判定日時	年 月 日 午前・午後 時
転 帰	回復 ・ 軽快 ・ 死亡 ・ 後遺症
死因・後遺症	
薬剤との因果関係	1. 関連有り 2. 関連が否定出来ない 3. 関連無し 4. 不明

厚生労働省エイズ治療薬研究班

念 書

平成 年 月 日

厚生労働大臣 殿

輸入業者（受取人）氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

_____ 印

同住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）

今般、別紙輸入報告書により報告いたしました下記 医薬品は（ 医師個人用 ）として使用するもので、他に販売、授与するものではありません。

つきましては、本品の通関手続に関しよろしくお取り計らい願います。

上述のとおり、後日のため念書差入れます。

記

品 名	数 量

(この様式の大きさは日本工業規格A4とすること)

念書の取扱についてのお願い

厚生労働省エイズ治療薬研究班

主任研究者(班長) 福武 勝幸

この念書は医師個人輸入の手続きにおいて厚生労働省へ必ず提出しなければならないものです。研究班の存続のために最も重要な書類ですので、遅滞なく班長へご返送いただきますようお願いいたします。

当研究班においては、厚生労働省の特別な配慮により薬剤を班長名であらかじめ輸入し通関しておりますが、本念書をご提出いただくことにより、各主治医が個人輸入したのと同等に扱うこととなり、薬事法に抵触することなく各医師へ薬剤をお届けする形で研究班が機能できる仕組みになっております。(この念書は当研究班専用のもので、一般の個人輸入の書式とは異なります。)

記載上の注意

日付欄には薬剤をお受け取りになった日付をご記入ください。輸入業者(受取人)氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名)の欄には、薬剤を研究班へ申請された医師の所属施設と氏名をご記入ください。また、同住所(法人にあっては主たる事務所の所在地)の欄には、医師の所属する施設の住所を御記載ください。お受け取りになった薬剤の品名と数量をご記載ください。

念書返送先

班長連絡先 東京医科大学病院 臨床検査医学科 主任教授 福武 勝幸
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL03-3342-6111 EXT5086 FAX 03-3340-5448

薬剤受領書返送先

事務局連絡先 パレクセル・インターナショナル株式会社
エイズ治療薬研究班事務局担当者
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21
茅場町ファーストビル 6F
TEL : 03-3537-5902 FAX : 03-3552-0452

2007/10/09 厚生労働省エイズ治療薬研究班

TAXOL[®] (paclitaxel) INJECTION

(Patient Information Included)

Rx only

WARNING

TAXOL[®] (paclitaxel) should be administered under the supervision of a physician experienced in the use of cancer chemotherapeutic agents. Appropriate management of complications is possible only when adequate diagnostic and treatment facilities are readily available.

Anaphylaxis and severe hypersensitivity reactions characterized by dyspnea and hypotension requiring treatment, angioedema, and generalized urticaria have occurred in 2 to 4% of patients receiving TAXOL in clinical trials. Fatal reactions have occurred in patients despite premedication. All patients should be pretreated with corticosteroids, diphenhydramine, and H₂ antagonists. (See **DOSAGE AND ADMINISTRATION**.) Patients who experience severe hypersensitivity reactions to TAXOL should not be rechallenged with the drug.

TAXOL therapy should not be given to patients with solid tumors who have baseline neutrophil counts of less than 1500 cells/mm³ and should not be given to patients with AIDS-related Kaposi's sarcoma if the baseline neutrophil count is less than 1000 cells/mm³. In order to monitor the occurrence of bone marrow suppression, primarily neutropenia, which may be severe and result in infection, it is recommended that frequent peripheral blood cell counts be performed on all patients receiving TAXOL.

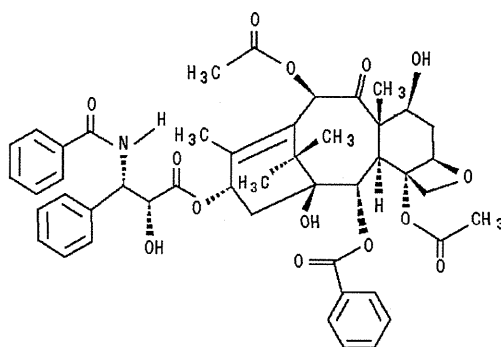
DESCRIPTION

TAXOL (paclitaxel) Injection is a clear, colorless to slightly yellow viscous solution. It is supplied as a nonaqueous solution intended for dilution with a suitable parenteral fluid prior to intravenous infusion. TAXOL is available in 30 mg (5 mL), 100 mg (16.7 mL), and 300 mg (50 mL) multidose vials. Each mL of sterile nonpyrogenic solution contains 6 mg paclitaxel, 527 mg of purified Cremophor[®] EL* (polyoxyethylated castor oil) and 49.7% (v/v) dehydrated alcohol, USP.

*Cremophor[®] EL is the registered trademark of BASF Aktiengesellschaft.
Cremophor[®] EL is further purified by a Bristol-Myers Squibb Company proprietary process before use.

Paclitaxel is a natural product with antitumor activity. TAXOL (paclitaxel) is obtained via a semi-synthetic process from *Taxus baccata*. The chemical name for paclitaxel is 5 β ,20-Epoxy-1,2 α ,4,7 β ,10 β ,13 α -hexahydroxytax-11-en-9-one 4,10-diacetate 2-benzoate 13-ester with (2*R*,3*S*)-*N*-benzoyl-3-phenylisoserine.

Paclitaxel has the following structural formula:



Paclitaxel is a white to off-white crystalline powder with the empirical formula C₄₇H₅₁NO₁₄ and a molecular weight of 853.9. It is highly lipophilic, insoluble in water, and melts at around 216–217° C.

CLINICAL PHARMACOLOGY

Paclitaxel is a novel antimicrotubule agent that promotes the assembly of microtubules from tubulin dimers and stabilizes microtubules by preventing depolymerization. This stability results in the inhibition of the normal dynamic reorganization of the microtubule network that is essential for vital interphase and mitotic cellular functions. In addition, paclitaxel induces abnormal arrays or “bundles” of microtubules throughout the cell cycle and multiple asters of microtubules during mitosis.

Following intravenous administration of TAXOL, paclitaxel plasma concentrations declined in a biphasic manner. The initial rapid decline represents distribution to the peripheral compartment and elimination of the drug. The later phase is due, in part, to a relatively slow efflux of paclitaxel from the peripheral compartment.

Pharmacokinetic parameters of paclitaxel following 3- and 24-hour infusions of TAXOL at dose levels of 135 and 175 mg/m² were determined in a Phase 3 randomized study in ovarian cancer patients and are summarized in the following table.

TABLE 1
SUMMARY OF PHARMACOKINETIC PARAMETERS—MEAN VALUES

Dose (mg/m ²)	Infusion Duration (h)	N (patients)	C _{max} (ng/mL)	AUC _(0-∞) (ng•h/mL)	T-HALF (h)	CL _T (L/h/m ²)
135	24	2	195	6300	52.7	21.7
175	24	4	365	7993	15.7	23.8
135	3	7	2170	7952	13.1	17.7
175	3	5	3650	15007	20.2	12.2

C_{max}=Maximum plasma concentration

AUC_(0-∞)=Area under the plasma concentration-time curve from time 0 to infinity

CL_T=Total body clearance

It appeared that with the 24-hour infusion of TAXOL, a 30% increase in dose (135 mg/m² vs 175 mg/m²) increased the C_{max} by 87%, whereas the AUC_(0-∞) remained proportional. However, with a 3-hour infusion, for a 30% increase in dose, the C_{max} and AUC_(0-∞) were increased by 68% and 89%, respectively. The mean apparent volume of distribution at steady state, with the 24-hour infusion of TAXOL, ranged from 227 to 688 L/m², indicating extensive extravascular distribution and/or tissue binding of paclitaxel.

The pharmacokinetics of paclitaxel were also evaluated in adult cancer patients who received single doses of 15 to 135 mg/m² given by 1-hour infusions (n=15), 30 to 275 mg/m² given by 6-hour infusions (n=36), and 200 to 275 mg/m² given by 24-hour infusions (n=54) in Phase 1 and 2 studies. Values for CL_T and volume of distribution were consistent with the findings in the Phase 3 study. The pharmacokinetics of TAXOL in patients with AIDS-related Kaposi's sarcoma have not been studied.

In vitro studies of binding to human serum proteins, using paclitaxel concentrations ranging from 0.1 to 50 µg/mL, indicate that between 89 to 98% of drug is bound; the presence of cimetidine, ranitidine, dexamethasone, or diphenhydramine did not affect protein binding of paclitaxel.

After intravenous administration of 15 to 275 mg/m² doses of TAXOL as 1-, 6-, or 24-hour infusions, mean values for cumulative urinary recovery of unchanged drug ranged from 1.3% to 12.6% of the dose, indicating extensive non-renal clearance. In 5 patients administered a 225 or 250 mg/m² dose of radiolabeled TAXOL as a 3-hour infusion, a mean of 71% of the radioactivity was excreted in the feces in 120 hours, and 14% was recovered in the urine. Total recovery of radioactivity ranged from 56% to 101% of the dose. Paclitaxel represented a mean of 5% of the administered radioactivity recovered in the feces, while metabolites, primarily 6α-hydroxypaclitaxel, accounted for

the balance. *In vitro* studies with human liver microsomes and tissue slices showed that paclitaxel was metabolized primarily to 6 α -hydroxypaclitaxel by the cytochrome P450 isozyme CYP2C8; and to 2 minor metabolites, 3'-*p*-hydroxypaclitaxel and 6 α , 3'-*p*-dihydroxypaclitaxel, by CYP3A4. *In vitro*, the metabolism of paclitaxel to 6 α -hydroxypaclitaxel was inhibited by a number of agents (ketoconazole, verapamil, diazepam, quinidine, dexamethasone, cyclosporin, teniposide, etoposide, and vincristine), but the concentrations used exceeded those found *in vivo* following normal therapeutic doses. Testosterone, 17 α -ethinyl estradiol, retinoic acid, and quercetin, a specific inhibitor of CYP2C8, also inhibited the formation of 6 α -hydroxypaclitaxel *in vitro*. The pharmacokinetics of paclitaxel may also be altered *in vivo* as a result of interactions with compounds that are substrates, inducers, or inhibitors of CYP2C8 and/or CYP3A4. (See **PRECAUTIONS: Drug Interactions.**)

The disposition and toxicity of paclitaxel 3-hour infusion were evaluated in 35 patients with varying degrees of hepatic function. Relative to patients with normal bilirubin, plasma paclitaxel exposure in patients with abnormal serum bilirubin ≤ 2 times upper limit of normal (ULN) administered 175 mg/m² was increased, but with no apparent increase in the frequency or severity of toxicity. In 5 patients with serum total bilirubin > 2 times ULN, there was a statistically nonsignificant higher incidence of severe myelosuppression, even at a reduced dose (110 mg/m²), but no observed increase in plasma exposure. (See **PRECAUTIONS: Hepatic** and **DOSAGE AND ADMINISTRATION.**) The effect of renal dysfunction on the disposition of paclitaxel has not been investigated.

Possible interactions of paclitaxel with concomitantly administered medications have not been formally investigated.

CLINICAL STUDIES

Ovarian Carcinoma

First-Line Data: The safety and efficacy of TAXOL followed by cisplatin in patients with advanced ovarian cancer and no prior chemotherapy were evaluated in 2, Phase 3 multicenter, randomized, controlled trials. In an Intergroup study led by the European Organization for Research and Treatment of Cancer involving the Scandinavian Group NOCOVA, the National Cancer Institute of Canada, and the Scottish Group, 680 patients with Stage II_{B-C}, III, or IV disease (optimally or non-optimally debulked) received either TAXOL 175 mg/m² infused over 3 hours followed by cisplatin 75 mg/m² (Tc) or

cyclophosphamide 750 mg/m² followed by cisplatin 75 mg/m² (Cc) for a median of 6 courses. Although the protocol allowed further therapy, only 15% received both drugs for 9 or more courses. In a study conducted by the Gynecological Oncology Group (GOG), 410 patients with Stage III or IV disease (>1 cm residual disease after staging laparotomy or distant metastases) received either TAXOL 135 mg/m² infused over 24 hours followed by cisplatin 75 mg/m² or cyclophosphamide 750 mg/m² followed by cisplatin 75 mg/m² for 6 courses.

In both studies, patients treated with TAXOL (paclitaxel) in combination with cisplatin had significantly higher response rate, longer time to progression, and longer survival time compared with standard therapy. These differences were also significant for the subset of patients in the Intergroup study with non-optimally debulked disease, although the study was not fully powered for subset analyses (TABLES 2A and 2B). Kaplan-Meier survival curves for each study are shown in FIGURES 1 and 2.

TABLE 2A
EFFICACY IN THE PHASE 3 FIRST-LINE OVARIAN CARCINOMA STUDIES

	Intergroup (non-optimally debulked subset)		GOG-111	
	T175/3 ^a c75 (n=218)	C750 ^a c75 (n=227)	T135/24 ^a c75 (n=196)	C750 ^a c75 (n=214)
• Clinical Response ^b	(n=153)	(n=153)	(n=113)	(n=127)
—rate (percent)	58	43	62	48
—p-value ^c		0.016		0.04
• Time to Progression				
—median (months)	13.2	9.9	16.6	13.0
—p-value ^c		0.0060		0.0008
—hazard ratio (HR) ^c		0.76		0.70
—95% CI ^c		0.62–0.92		0.56–0.86
• Survival				
—median (months)	29.5	21.9	35.5	24.2
—p-value ^c		0.0057		0.0002
—hazard ratio ^c		0.73		0.64
—95% CI ^c		0.58–0.91		0.50–0.81

^a TAXOL dose in mg/m²/infusion duration in hours; cyclophosphamide and cisplatin doses in mg/m².

^b Among patients with measurable disease only.

^c Unstratified for the Intergroup Study, Stratified for Study GOG-111.